

新型コロナウイルス感染症への対応等

単位：件

	令和4年2月	令和4年3月
日常生活品支援	577	171
パルスオキシメータ貸出	102	22
買物支援	5	10
コールセンター受電	6,744	3,768
窓口対応	315	448

	武蔵野市	三鷹市	府中市	調布市	狛江市	小金井市
1. Smooth Fileで提供されたデータを、健康観察、生活支援等に活用していますか？	健康観察及び生活支援に活用	健康観察及び生活支援に活用	健康観察に活用	健康観察及び生活支援に活用	健康観察及び生活支援に活用	生活支援に活用
2. 上記1で、連絡する対象者をどのように抽出していますか？抽出条件を教えてください。	①前日データに掲載されていない、②家族に対して支援の案内をしていない、の2条件を満たす方	感染急拡大により、すべての対象者へ架電することが困難となったことから、条件を絞って対象を変更しています。 R3年10月1日から「自宅療養の有無」に関係なくSmooth Fileに新たに提供された方 R4年1月9日から「自宅療養の有無」が新たに「自宅療養」となった方 R4年1月26日から「自宅療養の有無」が空欄で、発症日を0日とし発症10日目にあたる方 ※市との連絡がとれていない方、高校卒業年齢相当以上(2003年4月1日以前)の方を優先	①在宅療養期間5日程度 ②Smooth File初回掲載 ①及び②の条件を満たす50才～65歳及び乳幼児とその家族。	Smooth File初回掲載者のうち以下に該当しない方 ①65歳以上と65歳以上の自宅療養者と同居する方 ②ご家族（もしくは同居人）に市から連絡を入れている方 ③ご自身（もしくはご家族）で療養に関する問合せや支援の申請をした方	①Smooth File初回掲載者に架電。 ②架電時に家族状況を確認して、家族内で陽性者が発生した場合も連絡はしない。 ③Smooth File掲載者前に市支援を受け、状況を確認している場合も連絡しない。	療養期間残4日以上&自宅療養確定者&Smooth File初回掲載者&市支援を受けたことが無い世帯の全ての条件を満たす方
3. 上記1で、対象者へは誰が連絡していますか？	正職員4人。 架電件数が多い日や土・日・祝日は、上記4人の他に応援職員（正職員または会計年度任用職員、最大5人程度）。	主に、正職員(保健師2人、内1人兼務)、時間額会計年度任用職員(看護師、2人)が対象者へ連絡しています。なお、受電については、正職員(事務1人)も対応しています。	正職員、月額会計年度職員、日額会計年度職員の保健師、看護師（概ね8人程度）	専任の会計年度職員2人（事務） 患者数等の状況により、課内の全職員および全庁の応援職員が対応 （正職員・会計年度職員の事務、保健師、看護師、歯科衛生士、栄養士等、多職種）	健康推進課正職員及び会計年度任用職員 他課応援職員（正職員及び会計年度任用職員）	正職員（事務）6人及び月給制会計年度任用職員（事務）2人
4. 上記3で、連絡している担当は、専任担当者を確保していますか？	専任担当者を配備	専任担当者を配備	—	専任担当者を配備	その他	—
補足事項	原則として主管部署の職員が専任担当者として連絡し、必要に応じて、他部署からの応援職員（架電時間帯のみ）を確保。	—	専任担当者は確保していません。	事務職2人	自部署で他業務と兼務及び他課応援	確保していません。
5. 上記4で、専任担当者を確保している場合、その雇用形態を教えてください。	正規職員（事務）	時給制会計年度任用職員（保健師等）	—	時給制会計年度任用職員（事務）	—	—
補足事項	—	正職員については、保健師1人、事務職1人が、自宅療養者相談支援センター専任となっています。	—	週4日勤務	—	—
6. 上記1で、「健康観察に活用」「健康観察及び生活支援に活用」を選択した場合、健康観察についてはどのような内容を確認していますか？	高熱や息苦しさ等、重症化に繋がりやすい症状の有無。 その他、対象者が気になる症状の有無。	初回の受電・架電時に以下のことを確認しています。 ・症状、体調 ・回復状況(受電時は体調確認) ・健康観察の方法(HER-SYSの入力ができていたか)	呼吸苦、胸痛、発熱、SpO ₂ 数値、だるさ等の症状、及びその他の症状の確認を行っています。	体調確認、MY-HER-SYSの登録状況確認	本人及び家族の症状確認、健康上の不安等相談、医療機関の紹介等を実施している。	健康観察は行っていません。
7. 健康観察を行った結果、支援が必要となった場合、どのように対応していますか？	まずは検査を受けた医療機関に相談するように案内。合わせて、保健所の緊急連絡先を伝達。 市内の医療機関で検査を受けていない患者に対しては、市内医療機関で健康面の相談を受けられるよう、医師会を通じて調整。 必要に応じて、市が本人からヒアリングした内容を保健所に情報共有。	・保健所との連絡調整 ・市健康福祉・高齢者福祉・生活福祉部門等との連絡調整 ・受診勧奨や後遺症相談窓口等各种窓口の案内	緊急度の高い事例は即時で保健所に連絡し、情報提供程度の事例に関しては、1日1回、架電後にデータにして保健所に報告をしています。また、市の支援が必要そうな事例に関しては他機関連携をしています（子ども家庭支援課等）	保健所や医療機関、介護や母子の関連部署等、関係機関への情報提供及び連携したフォローアップ	緊急対応の方には、早急に保健所や緊急対応の契約をしている在宅医療の先生等に連絡をし、対応に当たっている。	—
8-1. 3月15日時点の自宅療養者数	633人	837人	826件	1034人	388人	599人
8-2. 3月1日～3月15日の生活支援件数	305件	150件	95件	—	124 212軒、261個の配達267の申込	117件
9. その他、取り組んでいることや補足説明等ありましたらご記入ください。	単身世帯の方や体調に不安がある方に対しては、発症から1週間後を目途に、再度、体調確認のための電話連絡を実施。	陽性判定を受けてすぐの方から、相談の連絡を受けることが多く、保健所から療養される方へ送られるメッセージの内容について案内しています。特に、症状悪化時の相談先や、HER-SYSの活用については積極的に説明しています。	—	—	東京都の運用もSMSでの通知となったため、今後の自宅療養者への架電等プッシュ型の対応について検討中。（保健所にも投げかけている）	—

新型コロナウイルスワクチンの接種状況について

1 接種状況

令和4年3月31日現在のワクチン接種記録システム（VRS）集計

(1) 1回目 人（接種率 %）

(2) 2回目 人（接種率 %）

※対象者は 人（令和4年 月 日現在）

(3) 3回目 人（接種率 %）

※対象者は 人（令和4年 月 日現在）

(4) 5歳～11歳 人（接種率 %）

※対象者は 人（令和4年 月 日現在）

(5) 年代別接種率 ※令和4年3月31日現在

単位：%

	1回目	2回目	3回目
5～11歳			—
12～14歳			
15～19歳			
20代			
30代			
40代			
50代			
60代			
70代			
80代			
90代			
100代			
合計			
市民全体			

2 3回目接種（追加接種）の状況

(1) 前倒し接種

予約枠に余裕があることから、65歳未満の一般対象者に対し2回目接種後6か月後から前倒し接種を行っている。

(2) 個別接種（ファイザー社製ワクチン）

【3月】47医療機関 【4月】 から15医療機関

(3) 集団・大規模接種会場

ア 第一大久保ビル

令和4年2月12日～5月7日（モデルナ社製ワクチン）

イ 保健センター

令和4年5月13日～未定（4回目接種の状況による）（ファイザー社製ワクチン、モデルナ社製ワクチン）

3 5～11歳接種

ア 第一大久保ビル

令和4年3月12日～5月8日（小児用ファイザー社製ワクチン）

イ 保健センター

令和4年5月14日～未定（4回目接種の状況による）（小児用ファイザー社製ワクチン）

(参考) 4月の大規模接種会場の実施内容

第一大久保ビル（3回目：モデルナ社製ワクチン、小児：小児用ファイザー社製ワクチン）

曜日	接種予定数
土曜日 14:00～18:45 4/2、9、16、23、29	3回目 人 小児 人
日曜日 10:00～14:45 4/3、10、17、24	小児 人
水曜日 14:00～18:45 4/6、13、20、27	3回目 人
金曜日 4/22、29	小児 人

4 追加接種（4回目）の状況

令和4年3月25日付け事務連絡「現時点から2か月程度を目途に、接種券や会場の手配等、準備を進めること」